

富医ニュース

No.584 令和2年6月1日

一般社団法人 富田林医師会

会長 宮田 重樹

〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38

TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858

E-mail : mail@tondabayashiishikai.jp

2020年度 会務分掌

会長 宮田 重樹

〔副会長 藤岡洋〕

広報調査委員会……○齊藤謙
IT委員会……○宮田重
学術委員会……○國定
クリティカルバス委員会……○國定
市民健康フォーラム委員会……○宮田重
産業医部会……○藤岡洋
医療機関整備委員会……○宮田重

〔副会長 児嶋〕

庶務……○國定 刀禰 明石
経理……○児嶋 森井秀 山本善
感染症対策委員会……○藤岡雅

小児救急委員会……○藤岡雅

休日診療委員会……○南

学校医部会……○福田

訪問看護ステーション運営委員会……○前田
選挙委員会

創立70周年祝賀会準備委員会

〔副会長 赤松幹〕

救急災害医療委員会……○赤松幹

介護保険委員会……○藤岡洋

保険指導委員会……○赤松幹

地域包括ケア委員会……○宮田重

福利厚生委員会……○森井秀

○印は主任(敬称略)

2020年度 委員会構成

☆感染症対策委員会 〔奇数月の第4火曜〕	○藤岡雅 ○仲谷 中嶋達 南浦 益海 大澤 天城 福田 柳田(富前) 澤本 赤松幹 國定 遠山佳 濱(PL) 14名
☆休日診療委員会 〔月末又は月初の火曜〕	○南 ○刀禰 大槻 奥山 森井茂 新田 松本 馬場 村田貴 上野 仲谷 二宮 田中弘 13名
☆救急災害医療委員会 〔奇数月の第2水曜〕	○赤松幹 ○明石 國定 田中寿 太田 植野 山村治 乾 内田 筒井 山本善 新鞍 小川 13名
☆医療機関整備委員会 〔随時〕	○宮田重 ○藤岡洋 入船 中内 今城 楠田 堀野 山本正 森口 齊藤謙 廣谷友 筒井 植村 藤岡雅 14名
☆学校医部会 〔奇数月の第2火曜〕	○福田 ○山本善 澤本 宮田重 藤岡雅 入船 松浦 山村治 中島啓 中西 山本肇 天城 12名
☆広報調査委員会 〔毎月下旬に2回〕(HP管理含む)	○齊藤謙 ○森井秀 青山 尾多賀 植村 天城 奥野 江村俊 山本善 遠山佳 藤岡洋 中村元 12名
☆介護保険委員会 〔随時〕	○藤岡洋 ○前田 坂口 廣谷 奥平 村田 山本定 中島啓 南 松島 上野 内田 國定 13名
☆地域包括ケア委員会 地域多職種連携	○児嶋 ○刀禰 堀野 宮田重 乾 廣谷 新鞍 内田 大澤 北株 天城 上野 大槻 13名
在宅支援診療	○坂口 ○前田 児嶋 今城 岡本 奥平 中島啓 新田 赤松幹 國定 久保 刀禰 12名
介護予防	○宮田重 ○山本善 明石 中西 4名
☆保険指導委員会 〔随時〕	○赤松幹 ○森井秀 江村正 齊藤謙 三木 藤原誠 尾崎 齋藤隆 二宮 9名
☆福利厚生委員会 〔随時〕	○森井秀 ○山本善 齊藤謙 入船 上野 楠田 馬場 北株 廣谷友 伊藤 刀禰 中西 筒井 13名
☆訪問看護ステーション運営委員会 〔毎月第3月曜〕	○前田 ○坂口 中平 廣谷 今城 村田 森井秀 東條 上野 新田 10名
☆産業医部会 〔随時〕	○藤岡洋 ○児嶋 松本 江村正 中平 岡本 大鹿 坂口 今城 山村治 森井秀 11名
☆選挙委員会〔随時〕	○植野 ○遠山佳 奥野 蔵本 濱 澤井 岡本 9名
☆小児救急委員会 〔随時〕	○藤岡雅 ○福田 益海 中嶋達 南浦 濱(PL) 柳田(富前) 澤本 8名
☆学術委員会 〔随時〕	○國定 ○山本善 ○刀禰 中島啓 遠山佳 植島 佐藤 村田 市橋 明石 奥山 東條 中西 奥平 久保 小川 濱 伊藤 奥野 中村紀 植村 大槻 江村俊 藤岡良 24名
☆クリティカルバス委員会〔随時〕	○國定 ○仲谷 刀禰 山本善 明石 5名
☆市民健康フォーラム委員会 〔随時〕	○宮田重 ○仲谷 児嶋 赤松幹 今城 森口 中西 山田恭 山本肇 中島啓 楠田 松岡 堀野 奥平 小川 國定 刀禰 天城 藤岡良 19名
☆創立70周年祝賀会準備委員会	理事全員
☆IT委員会	○宮田重 児嶋 國定 藤岡雅 赤松幹 刀禰 森井秀 明石 8名
☆裁定委員会	○堀野 ○森口 中内 今城 上野 植野 中平 7名

○印は委員長 ○は副委員長(敬称略)

この紙面を以て各先生への委嘱状に代えさせていただきますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

調 整 日

5月分 6月8日(月)
PM3:00まで

6月分 7月8日(水)
PM3:00まで

6 月 の 予 定

1日(月)・会長副会長
連絡会議

2日(火)・休日診療委員会

8日(月)・調整日

12日(金)・理事会

15日(月)・訪問看護ステーション
運営委員会

23日(火)・広報調査委員会

26日(金)・広報調査委員会
(校正)



令和2年5月定例理事会

日 時 令和2年5月15日(金)

13:30より

場 所 医師会 ZOOM会議

会長挨拶

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 大阪府南河内保健医療協議会等委員の確認について 引き続き宮田会長
- 3) 令和2年度会務分掌・委員会構成
令和元年度事業報告
令和2年度事業計画
令和元年度決算、2年度予算承認
- 4) 休日診療委員会より報告

令和2年 総会会長挨拶

会員先生方におかれましては、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、平時と異なり大変なご苦労があるなか日々の診療を続けてこられていることに対し、心から敬意と感謝の意を表します。

5月24日時点で国内感染者数は16,569人死亡者825人、世界の発生状況は感染者530万人超、死者34万人超になり、欧米、ロシア、ブラジルで感染者が急増しています。

世界各国でロックダウンや多数PCR検査が行われており、ロックダウンせず国民への要望どまりの緊急事態宣言、症例を絞った少数PCR検査などの対策に多くの国民や世界中の人々から疑問も声巻き起こっていました。しかし、人口1万人当たりの感染者は、アメリカ47.6 イタリア37.7 英国37.7 フランス21.5 ドイツ21.2に対し、日本は1.31で欧米に比しはるかに感染予防ができています。これは、日本人の普段からの衛生管理行動とお上の言いつけを守るという国民性によるものでしょう。人口当たり死者数は、イタリア537 英国530 フランス432 アメリカ237 ドイツ97に対し、日本は5.9で欧米に比し、はるかに死亡を抑えることができます。これは、日本の医療水準が高いことが重要な要因であることは疑う余地もありません。

21世紀最大の惨事によって、本来なら行われるはずであった東京オリンピック、プロ野球、Jリーグを始め、医師会創立70周年記念式典、市制70周年記念行事や研修会、講演会等もすべて延期中止となっています。医師会主催の会合は新型コロナウイルス感染が落ち着いた

ら順次開催していきますので、今しばらくお待ちください。

日本国内だけでなく世界全体で経済が滞り、人の移動宿泊に関わる業界や娯楽業界、飲食業等の経営が危機に瀕し、倒産、失業者が激増することが懸念されています。病院の経営にも大きな影響が及び存続が危ぶまれている病院が多々あります。いろいろな補償が検討されていますので、情報が入り次第連絡致します。個々の医療機関では対応が難しいことに対し、この時こそ医師会として活動しなければと考えております。

2月24日に臨時感染症委員会を開催して向後の方針を協議し、近隣病院、市町村、保健所に協力をお願いしました。富田林病院、PL病院とも肺炎疑いは従来通り診察して頂けると確約して頂きました。保健所とは、コロナ患者さんを診察したが故に休診の憂き目にあわないようにするにはどうすればよいか協議し、サージカルマスク着用と都度手洗いを実施すれば濃厚接触者にしないと説明して頂きました。さらに、PCR検査を依頼してもなかなか実施してもらえないとの相談を多く受け協議し、5月1日から保健所で管内3医師会共同でPCR検査外来を実施致しました。

流通が滞った影響で、医療物資特にマスクやガウンなどが卸から届かない状況に陥りました。医師会としまして、行政のご厚意や事務局の頑張りにより会員の先生方にマスクを提供できるように善処して参りました。

5月21日に大阪府の緊急事態宣言は解除されましたが、コロナ前の生活に戻ることは難しいと思われま。誤った情報が国民を不安パニックに陥れています。人が近づくと感染するのでソーシャルディスタンスが必要であるとか、室内で会議をすると感染するとか、ドアやボタンを手で触れると感染するとか、日本国内にコロナウイルスに感染している無症状者が蔓延しているとか思い込んでいる人が多くおられます。2月末の専門家会議提言目的は、医療崩壊を起こさないでした。病院の受け入れ態勢、軽症者の宿泊受け入れ態勢、PCR検査体制が整えば、多くの感染者が出ても対応できるでしょう。しかし、最近の新型コロナ対策として目指すは感染者ゼロになっている現状では、平時の生活を取り戻すには時間がかかるでしょう。現実的に冷静に考えられるようになってほしいものです。

医師会各種対面会議が中止になったことを受けてWeb会議を始めることとし、まず5月理事会をWebで行いました。順次各種委員会、学術研修会もWebで行っていく予定ですのでご協力ください。医師会からの情報伝達を、FAXからメーリングリストに移行する予定です。先生方のメールアドレスを確認でき次第運営を始めた

と思います。医師会からの情報発信だけでなく、各先生間での情報交換もできます。

アフターコロナの世界を早く見極めて、早々に対処していくことが求められます。発熱者は予め医療機関に連絡を入れるルールが定着し、医療機関においては発熱患者の時間分離または空間分離を実施、同じ時間に患者が集中しないように予約システムの導入、オンライン診療、お金を触りたくない人対応としてキャッシュレスでの支払いなどが考えられます。時代の変化にあった情報提供できるよう医師会として準備していく所存です。

もう1期2年間会長職の重責を担わせて頂くことになりました。先生方が、日々の診療、地域医療貢献が滞りなくできるような体制づくりを進めていきたいと考えております。ご意見、ご要望を医師会までメールで送ってください。

今しばらく、緩和されたとはいえ緩やかな緊張状態が続くと思いますが、先生方におかれましては、健康に留意されて粛々と日々の診療をなさって下さることをお願い申し上げます。

休日診療所報告

5月に入り、新型コロナウイルス感染者数は減少し、大阪府の緊急事態宣言も解除されました。3月中頃以降、新型コロナウイルス患者が増加している中、休日診療所に出務していただいています先生方も出務に際して不安を感じておられるかと思えます。3月中頃以降、1日の受診者数は10人未満です。ゴールデンウィーク中の受診者は20人前後でしたが、5月10日以降の日曜日は、再び10人未満に戻りました。

患者の半数以上は、発熱を伴わない腹痛、尿路感染症、虫刺されなどです。4月末以降は休日診療所からのPCR検査依頼もスムーズに行えるようになりました。保健所からはすべて陰性であったと連絡をうけています。

感染対策としては、患者との間に透明シートの衝立を設置、待合室には8人までの入室に制限、フェースシールドや簡易の防護服も用意させていただきました。裏口と表の自動扉を常時開放しています。

今後、再び患者数が増えることが予想されます。インフルエンザ流行時と重なる可能性等も考慮し、患者呼び出しシステムの導入を進めていきます。日頃、富田林休日診療所設置4市町村以外の住民の受診者が多いことも問題になっています。このような緊急時においては、なるべく患者が分散することが望ましいと思われれます。それぞれ、住居地の休日診療所を受診して頂くよう、近隣市に再度要請したいと思います。

学校医部会報告

学校医部会として、学校が開始され学校健診も開始された場合の健診の対応について下記のとおりと検討いたしました。

【学校医の先生方へ】

- 診察時はサージカルマスク+プラスチック手袋をして接触する。
- ゴーグルを装着するのが望ましいが、なければ眼鏡でもよい。そこは出務される先生の判断におまかせします。
- サージカルマスクとアル綿は、学校で用意してもらうように、現在依頼中。

【学校側へ】

- 診察する場所には児童・生徒は一人ずつ入ってくるのは従来通りですが、待っている児童・生徒は間隔をあけて待つこと。
- そのためには、1クラスでまとまって移動するのではなく、1クラスをいくつかのグループに分けて、診察のための待機の場所に移動すること。
- プラスティック手袋(S、M、L各サイズ4枚づつ)用意、アル綿(児童・生徒1人に1枚使う)を用意してください。
- 医師はプラスチック手袋をして診察し、一人診察終了ごとにアル綿で、プラスチック手袋と聴診器を消毒します。 学校医部会 委員長 福田 毅 先生

富田林保健所

新型コロナウイルス感染症PCR予約検査事業

4月に緊急事態宣言が発令されて以来、新型コロナウイルス感染症を疑う患者のPCR検査が増加してきたため帰国者・接触者外来だけではPCR検査が追いつかない状況となったため、富田林保健所管内で、管内3医師会から輪番で医師を派遣しPCR予約検査事業が実施されました。富田林医師会からは5月1日(金)赤松副会長、5月3日(日)宮田会長、5月6日(祝日)藤岡雅司先生、5月8日(金)堀野前会長、5月11日(月)森井秀樹先生、5月13日(水)仲谷宗裕先生が出務されました。

実施期間は令和2年5月1日(金)から5月16日(土)までの毎日14時から16時まで、医師がコロナウイルスの疑いがあるとして保健所に相談をした患者さんと、緊急度は低いがコロナウイルス感染症の疑いが否定できず、保健所長が行政検査の実施を認めた管内在住者を対象に行われました。

実施方法は予約制でドライブスルー方式により鼻咽頭拭い液の摂取で行われました。保健所職員から

PPE着脱の方法、検体採取の方法の説明を受けてから、保健所のガレージ内でPPE(ガウン、N95マスク、ゴーグルまたはフェイスガード、ハット、左手はゴム手袋を2重、右手はゴム手袋に肩までのビニールのアームカバー)装着し、待機しました。その後、10~15分間隔で疑い患者さんが車で来られて受付し、ガレージ内に車を誘導。車の窓だけ開けて、名前を確認。その後インフルエンザ検査と同様に綿棒を鼻腔内に挿入して検体採取を行い、介助者が持っているスピッツに綿棒を折り曲げて柄を折り、何回か回転させて先端部のみスピッツ内に入れて検体提出となりました。この方式はスムーズに検査が行えましたが、2時間ガウンを着たままで水分補給ができないので気温の高い日や、1日の患者さんが多い日は体力的にきつい日もあったようです。

今回のPCRの検査は89件で、陽性者は幸いなことに0名でした。出務された先生方誠にありがとうございました。

紹介元医療機関所在地別

富田林市	25	(28.1%)
大阪狭山市	9	(10.1%)
河内長野市	29	(32.6%)
河南町	2	(2.2%)
千早赤阪村	1	(1.1%)
他市	3	(3.4%)
保健所	20	(22.5%)
計	89	(100.0%)

献血

先生方はイオンの駐車場に献血バスが来ているのをご存知でしょうか？(2・3か月に1回)ボクも半年くらい前にたまたま気づきました。実は、若いころから献血マニアです。すでに100回近く献血してと思っています。これは行かねばと思って4月18日(土)に行ってきました。受付をすませ、しばらく待っているとバスの中に誘導されます。まず、高齢の医師の問診と血圧測定、1分間手を肩の上に載せての神経のチェックを受けます。皮膚科医と言えども、ある程度の医学的知識はあるのですが、素人の振りをして受け答えます。次に、実際の採血と反対の腕で血液比重を測るための予備採血があります。これまでは、肘静脈に細い針を刺して毛細管現象で血液をホンの少し採る方法だったのですが、今回からは指先から採血するようになったそうです。糖尿病患者さんが血糖値を測るのと同じ方法です。これが、めちゃめちゃ痛かったです。日本赤十字社によれば合併症が少ないのでこれに変わったと書いてますが、これはウソです。痛みという合併症を考えてないと思います。内科の先生方は多くの糖尿病患者さんを診てるとは思いますが、一度、自分で採血してみてください。本当に痛いです。

その後、献血用の採血が始まるのですが、その針は16ゲイジです！先生方の診療所でも薬剤の溶解などの時に18ゲイジ(ピンク色)を使われていると思います。

5月行事・会合

1日(金)・休日診療委員会

7日(木)・調整日

11日(月)・会長副会長連絡会議

12日(火)・学校医部会

13日(水)・救急災害医療委員会

18日(月)・会長副会長連絡会議

・訪問看護ステーション運営委員会

22日(金)・広報調査委員会

25日(月)・総会(書面決議予定)

26日(火)・広報調査委員会(校正)

・感染症対策委員会

人間には刺さないと思います。これより太いのです。でも、これは何度も刺しているの一瞬の痛みです。ただ、ベテランの看護師に当たると、肘を見て「お客さん、相当やっていますね」と言われます。傷跡は勲章のような物です。採血は10分ほどで終わります。

こんな経過で献血は終わりました。ジュースを2本もらってとっても満足しました。先生方も気が向いたら一度挑戦してみてください。

○会員数(6月1日現在) 188名

A会員 95名 B会員 92名 C会員 1名

○入会 なし

○退会 なし

○異動 なし

広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治	天城 完二	植村 匡志
	江村 俊也	奥野 敦史	尾多賀雅哉
	遠山 佳樹	中村 元	藤岡 洋
	山本 善哉		